

令和5年度 事業報告書 東山いきいき市民活動センター

【指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 8 名（うち常勤 3 名、非常勤 6 名）

【人材育成の取組】

- ・各スタッフの専門性に合わせた OJT の実施
- ・窓口対応向上のための全体及び個別レクチャーの実施
- ・定期的な個人面談の実施
- ・より専門性を高めるための外部研修の奨励

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
562	538	580	626	535	622	596	629	519	511	598	581

(年間)

6,897 件（前年度比 94.9%）

イ 利用状況

総数は昨年度比で約 90%と下がっているが、昨年度の 4 月～6 月が利用料金変更前に申込があった件数なので、全体としては横ばい傾向が見られます。昨年度同様、狭い部屋や用途が会議目的のみと限定している部屋については利用については回復の兆しはあまりみられず、これらの部屋の利用状況を改善させていくという課題が生じています。

ウ 利用促進に向けた取組

ウェブ予約の団体利用数も伸びており、好評いただいています。また、団体登録もウェブでの受付可能としたことが新規利用団体獲得につながり、順調に新規登録団体の数も増加しています。

エ その他

サロンについては、昨年度から横ばいの利用数となっています。当センターの事業で積極的に使用し、利用数の維持に努めています。しかし、令和 6 年度で閉鎖されることもあり、新たに設備投資などはできないので、今あるものを有効活用し、利用を促進していきたいと考えています。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

Facebook を活用した情報発信に力を入れてまいりました。投稿内容としては、センター認知度につながる情報に加え、センター事業に関する投稿や東山区にまつわる人や場所やものやイベントなどの発信だけでなく、センタースタッフの人となりを知っていただき、気軽に窓口相談いただけるよう工夫を行いました。

イ 取組の効果

各事業の報告を発信し続けたことで、それぞれの事業への参加者の数も徐々に増加していきましました。

(4) 管理運営

今年度も通常通り建築物の保守管理、保安警備業務、清掃業務、植栽保全、エレベーター保守点検等を実施しました。

(5) その他

POS レジを導入したことで、貸館業務の大幅な業務効率の改善を行うことができ、効果継続できています。利用者からも手続きの速度が上がって良くなったとお褒めの言葉をいただきました。

その他にも、これまでセンター近隣の古川町商店街との連携も密に進めており、「破片アートプロジェクト」などの連携事業や商店街での各種お祭りなどへのブース出展なども行ってまいりました。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】市民の「やりたい」を形にする対話型ワークショップ創出事業～東山しゃべくり大作戦～

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年5月28日（日）10時～12時
令和5年8月27日（日）10時30分～12時30分
令和6年3月16日（日）10時30分～12時30分
- 2 開催場所：みらくまの／東山いきいき市民活動センター 集会室
- 3 参加人数：のべ100名
東山まちじゅう図書館／まちづくりアドバイザー天岡さん
- 5 予算：920,000円 ／ 決算：708,125円

1 事業内容

東山区内において、地域やまちづくりなどを含めた公益的な取り組みを行っている・または行いたい方々のつながりの場があまり存在しません。東山区の盛り上げ・新たな活動の担い手・既存の活動の担い手とのつながりの機会創出を目的とした「東山しゃべくり大作戦」を実施しました。参加者より、今日話してみたいことや、今取り組んでいること・これから取り組みたいことなど、トークテーマをその場で募集し、集まったトークテーマごとに参加者が分かれてその場限りのグループを作って、そのトークテーマについて話し合っていました。

2 準備段階での工夫

当センターのスタッフだけで運営するのではなく、東山区と一緒に盛り上げたいと考えている「東山まちじゅう図書館」の小原さんと共に準備を進めていきました。また、区役所との連携を取るために、まちづくりアドバイザーの天岡さんにも運営メンバーに加わっていただきました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

元々は区役所で実施されていた「まちカフェ」を継承し、年間4回程度、各回15名程度の参加者を見込みながら、センターの存在を知らない層にセンターの存在の周知と新たな担い手の発掘とネットワークづくりを目標に掲げていました。

（2）事業実施による目標の達成度

回を重ねる事に固定参加者も増えてきており、自由に対話を楽しむ場としての成果は出てきていると考えます。また、運営に地域の子どもたちを巻き込むことができるようになりました。子どもたちの社会参画活動の場としても機能し始めています。

4 今後の抱負

成果としては固定的に参加者も見込まれるようになってきたというものがありますが、一方で参加者の層が、①とりあえず話したい人②ここで同じくらいの熱量で活動しているプレイヤーと繋がりたい人、の二極化しており、①については満足度が高い場になっているが、②に関しては不満を感じるような場になってきてしまっている現状です。元々の目的は①であったので、②に対応する場が求められてきていると感じており、今後については②のための場を設けていきたいと考えています。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域の学び直しの場づくり事業「みんなの学校ごっこ」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年9月23日（土）10時～17時、24日（日）10時～17時
令和6年3月10日（日）13時～16時
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター 全館（9月）多目的ホール（3月）
- 3 参加人数：延べ500名程度（参加者）延べ72名（センセイ参加者）
- 4 協力団体等：市民より公募の実行委員15名
- 5 予算：1,050,000円 / 決算：1,183,779円

1 事業内容

みんなの学校ごっこは、まちの方々の知識やスキルを学びに変え市民活動への参加を促すとともに新たな活動の一助となることを目的に実施しています。

まちのみなさんのスキルをセンセイとして教え、まちのみなさんが生徒になって学び合い教え合う場として開催しています。今年度は2回9月と3月に開催しました。

今年度も実行委員会を組織し、公募で集まった市民の方たちと事業を構築していきました。

2 準備段階での工夫

公募での実行委員会方式を採用し毎月の会議を重ね実行委員が発案し実施する企画や開催前のイベントなどを行ないました。また実行委員が考案したインスタグラムを用いた広報活動も積極的に活用しました。開催後には参加者同士で振り返りを行う会を実施しました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

本事業の目標は事業に参加することで市民活動の新たなプレイヤーを創出することにあります。センセイとして参加しスキルやノウハウをまちに還元する、生徒として市民活動の一企画に参加し市民活動に入門する、実行委員として市民活動の企画を担い実行する人材を輩出することの3つを軸に新たな市民活動プレイヤーの創出を目標に事業を行ないました。

（2）事業実施による目標の達成度

今年度も多くの方がセンセイとなりました、年間70名以上の方がセンセイとして授業を開講し、事業を担うプレイヤー達が自身で考え実行していく取り組みも増えていき規模も昨年を上回るものとなり一定の事業効果をあげることができました。

○参加者の声：実行委員として参加し、仕事以外での役割を楽しみながら行うことができ、自身の成長にもつながった。センセイとして参加しました、自分の活動が誰かのためになるとは思っていなかったのもとても嬉しかった。

4 今後の抱負

よりいっそう多様な人がプレイヤーとなるような仕組みを構築にしていきたい。また東山いきいき市民活動センターだけではなく東山区の場所にもこの取り組みを広げていくことでより東山区に根付いた事業にしていきたいと考えています。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域課題・社会課題受発信事業(メディアセンター事業)

事業の概要

- 1 令和5年4月～令和6年3月（月1回程度）
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：①各回5～10名程度②3名の市民ライター③各回10名
- 4 協力団体等：岩崎温、岡泰平（映像クリエイター）
- 5 予算：1,600,000円／決算：1,773,016円

1 事業内容

① 動画製作集団の組織化「Social Echoes」

ソーシャルグッドな動画を制作し発信することで新たな地域活動やトレンドの表出と動画の発信の担い手の創出による新たな市民活動の担い手創出とを同時に実施しました。月に1回程度の定例会議でメンバー同士の交流・技術の向上・動画企画の立案などを行っていきました。

② WEBメディア「iINA」の発行

『あなたのいいなが、まちのいいねに…』をテーマに、WEBメディア「iINA」は京都市東山区を中心に、市民の方に「それイイな、やってみよう」と思えるような、地域で活動する人の考え方や取り組みを発信しました。今年度は2名市民ライターを輩出し、それぞれ1本ずつ記事を作成していただきました。

③ 動画スクールの開校

初めて動画制作をおこなう方向けに動画スクールを開講しました。スマートフォンのみで完結するよう講座を構築し、卒業制作としてソーシャルグッドな動画を作成することで社会問題の発信にも寄与しました。

2 準備段階での工夫

準備について、①では、2名の映像クリエイターに監修いただきながら、当センタースタッフと共にプロジェクト運営を担っていただきました。②では、ライターをやってみたい市民を募集し、共に話し合いながら記事作成を進めていきました。広報については「activo」というボランティア募集サイトを活用することで、毎月定期的に2、3名の参画希望者がありました。③については各回定員に達するなど高評いただき、数名ではありますが「Social Echoes」への流入も見込むことができました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

①では、動画制作を通じて新たな市民活動の担い手の創出を目標とし②では市民ライターの育成と記事の発行③では①への接続を目標としていました。

（2）事業実施による目標の達成度

①について新規のメンバーや実施回数については概ね目標としていた部分は達成できようと思います。他の事業とも連携し、動画制作の機会も今年度は増えたように考えています。②についても参加者数に関しては目標を達成できたように思う。

4 今後の抱負

動画制作をより多く行い発信の頻度を上げていきたい、定期的に動画を生み出せるように事業内容を構築していきたいと考えています。③については参加者の動画制作を難しいことであると感じられている方がおおいだったので今後は制作の難易度を下げ、多くの作品が生まれるような仕組みを作り、①に関わっていく人たちを増やしていきたいと考えています。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域課題・社会課題受発信事業（メディアセンター事業）

「インターネットラジオ番組：ちょっとご縁がありまして」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年年4月～令和6年3月(放送回数：12回・総再生数：734回)
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：のべ20名
- 4 予算： 0円 / 決算： 0円

1 事業内容

東山いきいき市民活動センターでご縁が繋がった「ちょっと面白いヒト」をお呼びして、その方の活動だけではなく、活動を始めたきっかけや背景を深掘りしてお聞きする音声配信番組です。配信媒体は、現在のところ stand.fm と Facebook を使い、このラジオを聞いた人が、活動の第一歩や新しいご縁に繋がる機会の創出を目的としています。

<https://stand.fm/channels/613ef65e7de6f0a0e09cbbce>

2 準備段階での工夫

前もって利用団体さまや活動団体にお話を伺い、活動の PR や発表会などの告知、メンバー募集を効果的にできるようなタイミングを設定しています。また、聞き手となるナビゲーターを公募でも募集し、実際に活動を行っているゲストとお話することで市民活動を間近で感じられる機会を設けています。

協力団体：協力団体：チーム KUSABI・Roomie・八尾廃校図書室・キッズバリスタ・S.A.I Foot ball club

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

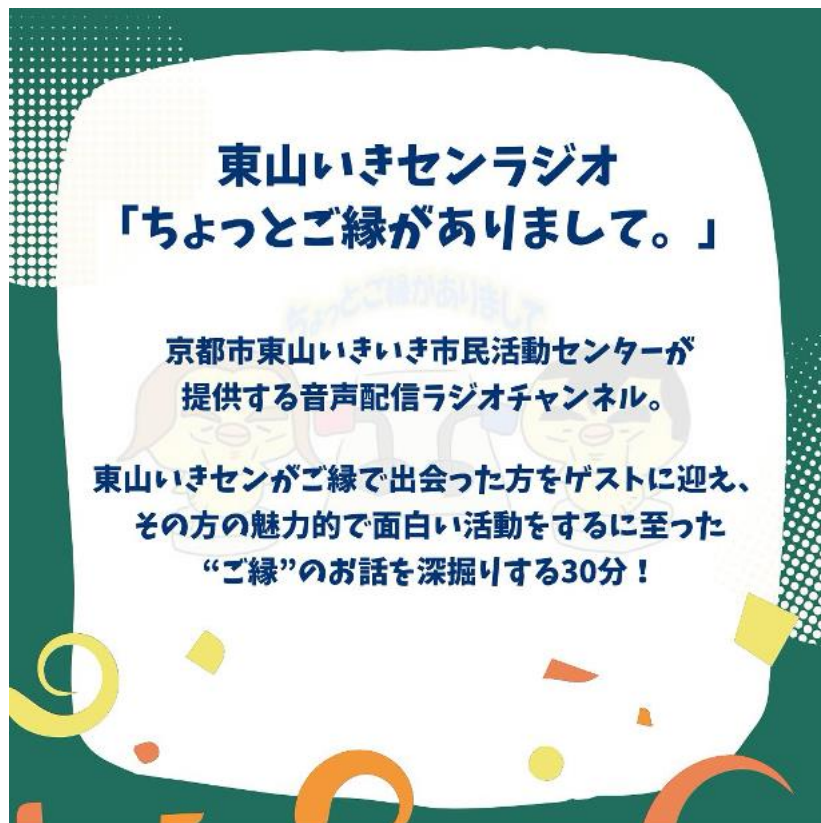
京都で活動する様々な活動団体の個人に焦点を当て、「なぜその活動をしているのか」「その活動をすることになったきっかけは何か」「どこに心が動いたのか・その活動の魅力」を紐解くことで、その人らしさや活動への思いが聞き手に素直に伝わり、また親近感も感じられると考えました。また、映像ではなくラジオ配信にすることで、ゲストへのハードルの低さを設け、話す内容により集中してもらうことを狙いました。このラジオを聞いた人が新たな活動の第一歩を踏み出せたり、新しいご縁に繋がる機会の創出を目的としています。

（2）事業実施による目標の達成度

登壇していただいたゲストの方々から、「なかなか自分が活動を始めたきっかけを深掘りされる機会はないのでいい機会となった」「いつも一緒に活動しているメンバーが何をきっかけに始めていたのかを知れて面白かった」とお答えいただきました。ボランティアナビゲーターも8名となり、ラジオへの関心やボランティアとしての関わりやすさなど、市民活動に触れる機会の創出にもなっていると感じます。

4 今後の抱負

引き続き、月に2名のゲスト収録を目指し、センター利用の団体に声をかけていき、外部の方へ活動をより広く知っていただくための一助とします。また、広報活動の1つのツールとしての音声配信のノウハウの伝授も広く行なっていけたらと思います。



東山いきセンラジオ
「ちょっとご縁がありまして。」

京都市東山いきいき市民活動センターが
提供する音声配信ラジオチャンネル。

東山いきセンがご縁で出会った方をゲストに迎え、
その方の魅力的で面白い活動をするに至った
“ご縁”のお話を深掘りする30分！



S.A.I Football CLUB
中村 達也コーチ

stand.fm

ご縁22

2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域の他世代交流拠点としてのサロン運営事業

「e スポーツ・アナログゲームを通じた世代間交流事業」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年4月～令和6年3月（月1回）
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：述べ80名程度 実数各回6名（団体）
- 4 予算：620,000円 ／ 決算：520,696円

1 事業内容

e スポーツを通して、多世代の交流をおこなうことを目的に事業を行いました。会場はふれあいサロンを使用し月1回程度、開催しました。

2 準備段階での工夫

今年度も引き続き大学生のボランティアと協力し e-sports の経験がなくとも参加しやすいように工夫して実施しました。新たに e スポーツを多世代で楽しむこと広めていく東山いきいき市民活動センター発の e スポーツチーム「Team おいなり」を組織しました。また多く方が集まる東山区内のイベントへ出展しました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

高齢の方だけでなくふれあいサロンで子供や大人も場所を活用し交流ができることと e スポーツがただのゲームではなく競技性のあるもの、どなたでも楽しむことができるということを認知してもらうことを目標に行いました。

（2）事業実施による目標の達成度

小学生や大学生、高齢の参加者など様々な世代が参画し交流したことで目標が達成できたように考えています。地域の子供たちの見守りや活躍できる場を作ること社会問題にも寄与できたと考えます。

また e スポーツの利活用として今年度も東山区のいくつかの学区の自治会のレクリエーションの一つとして行い、普段 e スポーツとは縁遠い方たちにも楽しんで取り組めるものであると感じていただけることができました。

4 今後の抱負

今年度はふれあいサロン以外でも活動することができ、多くの方に e スポーツを体感していただくことができた。引き続き地域の中で請われるようなコンテンツを提供していきたいと考えています。

また次年度についてはチームとしての活動を活発におこない、多世代がつながれる e スポーツチームとして地域交流の一助として活動していきます。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域の多世代交流拠点としてのサロン運営事業

「装いのアトリエ」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年4月～令和6年3月(計12回)
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：76名
- 4 予算： 680,000 円 / 決算：694,251 円

1 事業内容

多世代交流拠点（ふれあいサロン）にて、ものづくりワークショップを通じた多世代の交流や居場所づくりを月に一度行います。ワークショップに参加することで、異なる世代の人々が集い、交流やコミュニケーションが生まれたり、手作りの楽しさや喜びを共有することができる場をつくれます。

2 準備段階での工夫

参加者間の交流がより濃いものになるよう少人数制での募集とし、顔の見える関係性が作りやすい環境づくりにしました。季節に合わせた素材や作品づくりを心掛け、作る時間だけでなく、作ったその後も参加者みんなで楽しんでいただけるような作品設定を行いました。また、地域の方や、ものづくりに興味がある多様な方に届くよう、広報方法はいきセンのFacebook ページ・Instagram と館内掲示が主です。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

参加者が異なる世代の人々と交流し、新たなつながりを作り出すことを目指し、参加者や地域の人々が交流し、地域とのつながりを深めたり、世代を超えた交流を行うことを狙いました。そのため、老若男女参加しやすいワークショップ内容の設定や、夏休みには子ども向けの企画を行いました。東山区以外の参加者だけでなく、地域の高齢者や子どもたちが参加し、また観光にきていた海外のご家族も参加され、国と世代を超えた交流が行われました。

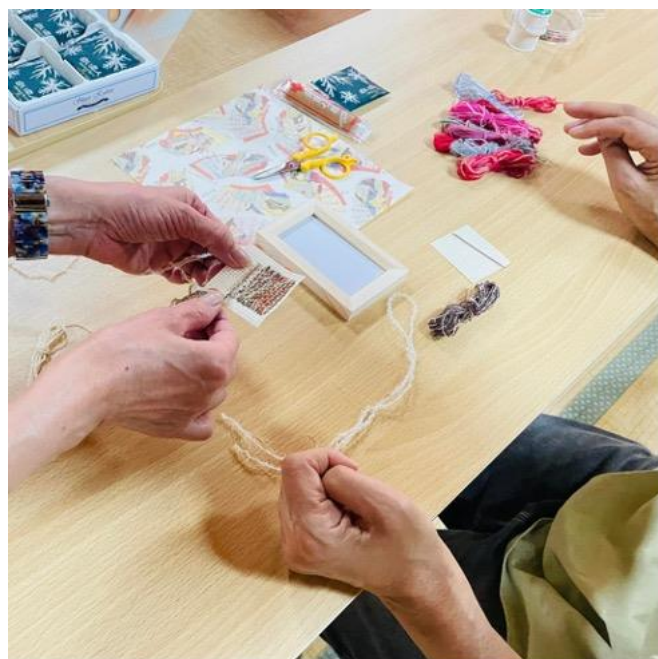
（2）事業実施による目標の達成度

月に一度、新しいものづくりのスキルを学びながら話ができたり交流をもてる機会というのは貴重であり、またお一人住みの高齢者にとって、多世代との交流の機会はなかなかないため、その場においてお話をするだけでも活力になるようです。また、海外からご家族での参加があった際には、かつて翻訳者としてお仕事をなさっていた方が思いがけず自身の力を発揮され、より円滑なコミュニケーションを取ることができました。

4 今後の抱負

“ここに来ればみんなと会える、話せる、交流できる” ような居場所となる場づくりを引き続き意識します。また、少人数制でありながらも様々な方にご参加いただけるような仕組みを考え、海外の方にも興味をもっていただけるようなものづくりを行います。

事業風景の写真



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：12,256,282 円（前年度比 105%）

内訳 会議室等：11,110,242 円
 付属設備：560,280 円 ※自主事業分を除く
 スモールオフィス：585,760 円

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

① 案内表示は分かりやすかったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
44%	55%	1%	0%	0%

② あいさつやお声かけはきちんとできていましたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
50%	48%	2%	0%	0%

③ 身だしなみは業務にふさわしいものでしたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
49%	48%	3%	0%	0%

④ 表情や態度は感じが良かったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
51%	46%	3%	0%	0%

⑤ 言葉づかいや説明は、親切で、ていねいでしたか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
53%	45%	2%	0%	1%

⑥ 説明は的確で分かりやすかったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
54%	44%	2%	0%	0%

⑦ 整理、整頓は行き届いていましたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
47%	48%	4%	0%	1%

3 意見等への主な対応状況

館内スリッパが古くなっているという要望があったので、今年度で全て新しいスリッパに入れ替えました。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

今年度も多様な方々とのコミュニケーションのうえ、それぞれの事業を進めてまいりました。その中から、新たな事業のタネも生まれてきており、少しずつ進化・発展させていくことができたと感じています。

次年度については、これまで当センターで培ってきた事業を横展開させたり、センターを飛び越えて、東山区内各所で事業を行うことで東山区全体の市民活動を盛り上げていきたいと考えています。その例として、「公共空間の見直し」をテーマに、東山区図書館と連携し、図書館の新たな価値を見出していく取組みを計画中です。また、当センターで実施していた「しゃべくり大作戦」も図書館で行うなどの横展開も進めてまいります。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

特になし